

## あいち障害者センターNEWS(号外)

2026年1月

(講師派遣・研修版)

発行: NPO あいち障害者センター

センター「繋ぐ」講座第2回～18歳の接続(2025年11月30日)報告

### 福祉と教育の連携の重要性を再認識した時間でした

第1回では、小学生と中高校生の放課後生活の在り方に關して保護者の率直な思いを踏まえて交流し、中学生になると保護者の思いとは違って「家で過ごしたい」と思う子も増えてくることを学びました。

第2回では、18歳で「働くこと」を求められている現在の仕組みの中で、どういう課題があるのかを現場から問題提起していただき、保護者も含めた関係者で意見交換しました。

まず特別支援学校で取り組んでいる「キャリア教育」の考え方と取り組みを丁寧にご報告いただきました。単に就職を目指すのではなく、自分らしい生き方を実現していくためのキャリア発達を促す教育だということ、教科教育だけでなくキャリア体験を重視するために実社会で活躍する本物のヒト・モノ・コトとの出会いや、「好き」を大切に自分で考え悩み自分で決める過程を大切にすることを目指し、キャリアコンサルタントの資格をもつナビゲーターとも協力しているとのことでした。現実には保護者との情報共有や学校ごとの取組の違い等課題はあること、子ども達の卒業後の選択肢が仕事だけでなく広がることも必要ではとしめくられました。

卒業後に18歳で利用する福祉的支援に関わっては、場も活動も集団もすべてが急に変わり「制度の切れ目が生活の切れ目になる」ことのしんどさ、通う場の数は増えたものの、児童期までの学校や放課後デイの取り組みの継続性が担保されず、学びの時間が減少し体験を通して学ぶ機会が保障されないこと等の問題を指摘されました。学校から成人期の事業所への引継ぎが不十分なことが多く、本人の興味や好きな活動等の情報が欲しいと言われました。

その後参加者から質問、感想を出していただき、保護者の方からは、中学に進学したら「高校卒業まで6年だから就職のために何をするか考えて」というようなことを教師から言われてレールが敷かれているように感じた、仲良しと放課後デイに通っていたが「家で好きなことをしたい」と主張するようになり成長を感じている等、「中高校生らしい生活とは」についての思いと、子どもについての諸機関との情報共有のむずかしさが出されました。支援者からは事業所間の情報共有のむずかしさ、引継ぎ資料の在り方、15歳で成人事業所に移行してきた場合の活動の在り方といった問題が提起されました。

18歳での制度移行ということを考えた場合、次にどの事業所を選ぶかだけに保護者の目が向きがちな中、「豊かな人生を保障する」ために学校教育では何を大切にしていくのか、事業所が増えて選択肢が広がっているように見えながらも保護者が限られた情報の中で次の場を選んでいる実態も踏まえて、子どもに關わる情報を共有するためにも、地域の中で学校と福祉関係者が顔の見える関係になること、学習や交流の機会を増やしていくことの必要性を感じさせられました。そして性的成熟が進み保護者との関係も変化するこの時期に必要な生活や体験の質についても考え合いたいものだと思いました。

(文責:コーディネーター 近藤直子)

## センター講座 2025 第2弾

接続に関わる教員さんや、指導員さん、福祉を学ぶ学生さん、ぜひ参加を。  
2回のみ、3回のみの参加もOKです。(各回 1000円、学生 500円)

センター講座2025

# 支援をつなぐ 連続講座

小学校から中学、高校へ、卒業後は?  
節目の年齢による接続の「問題」を、  
まずは、関係者で共有し、考え合うこ  
とから始めましょう。

コーディネーター：近藤直子さん



## 12歳の接続

10月5日 (日)  
13:00~16:00

♥ディサービスあさがお  
学童保育所・放課後ディは  
12歳問題にどう取り組ん  
でいるか

♥相談支援あさがお  
障害児相談支援は何にどう  
取り組んでいるか



## 18歳の接続

11月30日 (日)  
13:00~16:00

♥鉄井史人さん  
(地域ネットワーク  
☆kirara)  
特別支援学校教員としての  
取組

♥今治信一郎さん  
(きょうされん愛知支部)  
障害者就労支援事業所とし  
ての取組

3

## 家族として

2月1日 (日)  
13:00~16:00

♥浅野美子さん  
(おとなになった3きょう  
だいの母)  
家族で取り組んでいること

♥平松和弘さん  
(特別支援学校中学部2年  
生の父)  
ともに学び考え取り組みた  
いこと



参加費: 3000円 (1回1000円)  
※学生 1500円 (1回500円)

申込: あいち障害者センター  
TEL 052-682-7915 asc732@spa.nifty.com

## 「18歳の接続」アンケートより

### Aさん 保護者

18歳の壁の分厚さと壁の高さがよくわかりました。  
18歳までに小さな失敗をたくさんして、受け止めてもらえる  
経験と、それをチームで支える視点が大事だと思いました。  
チームを作りましょう・お母さん・お父さん 一人で抱えないでね、  
と、先生方や職員さんから積極的に伝えてほしいなと思いました。

### Bさん 保護者

とても有意義でした。  
・定期的にこうした場があることで我が子のことをゆっくり振りかえる  
時間をもつことができました。  
・中学卒業後、さらにその先を見据えて、わくわく楽しい人生をどう  
つくっていくか、の視点を得ることができました。  
・家族から自立自律していきながら、本人の生活と人生のサポート体制  
をどのようにつくり移行していくとよいか考えさせられました。  
今は親子時間を楽しんでいます。

### Cさん 放課後ディ

学校の先生の生の声がきけて良かった。  
豊かな時間をつくるため、こども目線での支援をされていて、  
うれしかった  
キャリア教育の中味がきけて学べた。  
キャリア教育は、働く場をみつけるだけにとどまらず、豊かな生活の  
視点にたって計画されていてとても新鮮でした。

次回、お聴きになりたい事

※知的障害のある子の夢の叶え方が知りたいです。

※親亡き後のことや考えていること、動いていることがあれば、ぜひききたいです。

## あいち障害者センターの事業紹介



# 「学び」を職員みなさんの共有の財産にするために、 あなたの事業所に伺います。

一緒に学びの場を作っていきませんか。

障害のある人や家族とともに一歩でも前に歩める、障害者・障害児の日中活動や暮らしの場における支援の在り方や職員の力量のアップが求められています。

正規職員さんも非常勤職員さんも、関わるご家族も、学生さんも、ともに学習することで、「学び」を共有しませんか。

※あなたの事業所の学習の場をお手伝いします。

※講師派遣（講演）は、ご希望の内容をふまえ、講演内容を相談いたします。

※センターにご協力いただいている多彩な方々が、成年後見、親の立場、当事者として、得意分野を語ります。

センターの応援団になってください。

■贊助会費：（法人・事業所・団体）年間 1 口 10000 円

■贊助会費：（個人）年間 1 口 2000 円

※センター講座は、贊助会員割引があります。

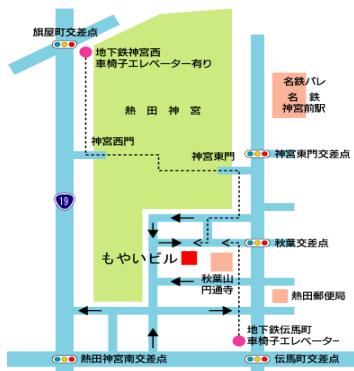


※センターエレベーター修繕募金にご協力ください。

①郵便振替(払込取扱票) 00810-7-78563

②ゆうちょ銀行 ○八九店(089) 当座 0078563

特定非営利活動法人 あいち障害者センター



地下鉄名城線「熱田神宮伝馬町」徒歩 7 分

名鉄本線「神宮前」徒歩 7 分

市バス「神宮東門」徒歩 7 分

※駐車場はありません。近隣のコインパークをご利用ください。

## NPO あいち障害者センター

住所：名古屋市熱田区神宮 2-3-4 もやいビル

電話：052-682-7911 FAX : 052-682-7916

メール：asc732@spa.nifty.com (講師派遣・研修用)

学習したあとは熱田神宮へ散策！

ホームページ：<http://www.npo-asc.jp/>